

担い手農家・農業法人・集落営農組織むけ情報誌
お時間がある時にご覧いただきますようお願い申し上げます。

稲作情報

田植え後、深水のままになっていませんか？

分けつ促進のため、浅水管理に切り替えましょう！

生育状況と今後の管理のポイント

○5月上旬植えでは、活着後、**分けつ期**に入っています。**分けつ期**は、新しい葉の展開とともに**茎数が増加する時期**です。この時期に**適切な茎数をしっかり確保することが重要**です。

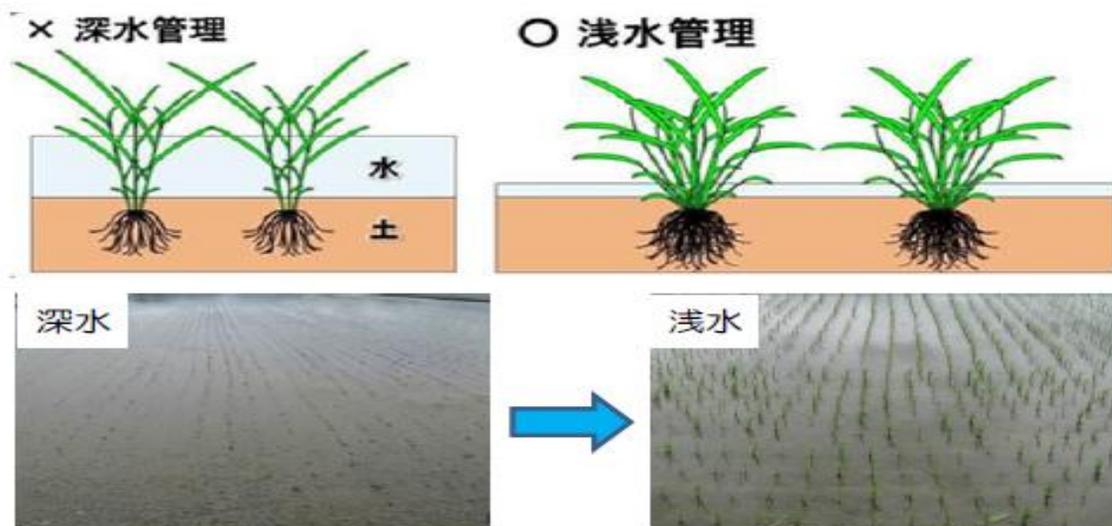
○田面が露出しない範囲で浅水管理(水深3cm程度)に湛水し、**地温と水温の上昇**に努め、**分けつを促進**しましょう。

○除草剤散布後7日間以上が経過した圃場では、尻水戸の板を下げ**深水状態が続かないように**しましょう！

◆田植え後の水管理のポイント

①田植→活着期 : **苗が活着するまで(植付後3日程度)**は、寒さや風からイネを守るため、必要に応じて**深水の湛水状態**。

②分けつ期 : **活着したら、自然減水により水深3cm程度の浅水管理**。
浅水管理を行うことで、**水温・地温を高く保つことになり、初期分けつを促します**。
長期間深水にすると、**イネは徒長し株も細く、生育が悪くなります**。



浅水管理は、稲の株元に太陽光が当たり、地温を高め、分けつを促進します。

◆還元障害に注意！

ほ場をこまめに観察し、還元障害(ほ場に入るとブクブクと泡が出る、ドブ臭い匂いがするなど。左写真状態)を発見したら、自然減水によりほ場を軽く干してください。

(2、3日程度軽く干して、ガス抜きをしましょう！)

※還元障害例



【還元障害の回避対策】

- ①根本的な対策として、ガス抜きのためほ場を軽く干します。(土が十分に濡れていれば、除草剤の効果は無くなりません。)
- ②葉色が悪いからといって窒素肥料を施用しません。
- ③窒素を含まない肥料(JAは、けい酸加里プレミア34、硫マグ25をおすすめ)を施用します。

◆中干し

◇中干しの効果

- ・還元障害による有害ガスの除去と根への酸素供給
- ・有効茎歩合を高め、茎を太くし倒伏軽減
- ・土壌を固めて、地耐力の確保

目標茎数確保(目標茎数の8割、下表参照)、または田植え後4週間程度経過したら、中干しの開始時期となります。

この時期に十分な茎数がなかったり、生育がばらついている場合は、還元障害(上記参照)により生育が遅れていることが考えられますので、早めに中干しを開始します。中干しの期間は、**14日(2週間)を目安に、小さなヒビが入り軽く足跡がつく程度とします。**

中干し開始時期のほ場



表: 中干し開始時期の茎数目安(コシヒカリ)

栽植密度/坪	50株	60株	70株
1株あたり茎数	20本	17本	14本

中干しの程度



◆溝切り

◇中干し後の入排水を速やかに行なうために、溝切をします。

環境保全型農業直接支払交付金の⑧IPMや⑪緩効性+長期中干しでは、中干しを14日以上実施することに加え、10aあたり1本以上の溝切をすることが必須要件です。

- ・溝の間隔は、8~10m程度で、深さは10cm程度
- ・切った溝は必ず排水溝(尻水戸)までつなげます。

溝きりの程度

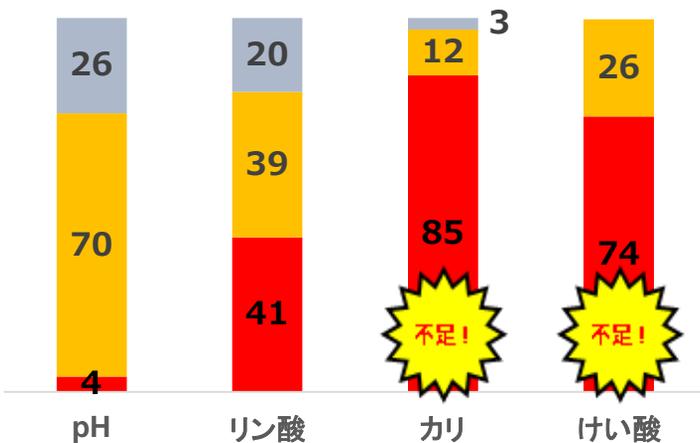


米の収量品質向上対策には
中干し時期の **けい酸加里** 施用がオススメです。



過去5年間の北びわこ管内の土壌診断結果 単位 (%)

('15~'19) ■ 不足または低い ■ 適正 ■ 過剰または高い



上図：広域土壌分析センター滋賀の分析結果を基に作成

「けい酸加里プレミア34」の効果

- 根張りが良くなり、根の活性を維持
…高温による乳白米の発生を抑制するなど異常気象に強くなる。
- 直立受光態勢が良くなり、光合成が盛んになる
- 稲体の表皮細胞を硬くする
…いもち病の抵抗性を高める、倒伏しにくくする。

施用量：20kg/10a
施用時期：中干し期～出穂40日前までに

★デンプン生産能力の高い稲に育てましょう。

*けい酸加里は緩効性の為、流亡の心配がありません。

*土づくりとして春にけい酸加里を(40kg)施用した場合と同等の効果が得られます。

JA北びわこ管内では
カリとけい酸が不足している
傾向にあります。

収量500kg/10aに必要なチツソ量は
10kgであるのに対し、**カリ**は**16.5kg**
と3要素で**最も吸収量が多い**養分です。

カリや**けい酸**が不足すると稲の
葉が軟弱化して横になり、上の葉が陰
になって株全体の光合成能力を低下さ
せます。

また、幼穂形成期以降の**カリ**不足
は米の**粒張り**や**登熟歩合**に大きく影
響します。



*H27年産 試験事例 (湖北町)

資材紹介【硫マグ25】

苦土(マグネシウム)は、作物が生きていくために必要なエネルギー生
産の元である葉緑素の主成分です。マグネシウムが欠乏すると葉緑素
の生成が低下し、光合成が衰えて炭水化物(エネルギー)の合成も減
り、十分な生育が得られないなど、とても重要な役割を持っています。

硫マグは、**イネの還元障害からの早期回復に効果があります。**

一度還元障害がみられる圃場に試してみてもはどうですか？

施用量：20kg/10a



除草剤情報(中後期除草剤)

○初期除草剤や一発処理除草剤での取りこぼし雑草、後発で発生した多年生雑草の防除に有効です。

注: プレミア米・スタンダード米を生産されている方につきましては、**クリンチャー剤・バサグラン剤以外の中後期除草剤の使用は、生産基準から外れますのでご注意ください。**

区分	薬剤名	使用時期	1年生雑草			多年性雑草
			ノビエ	ノビエ葉期	広葉	
中期剤	ハイカット1キロ粒剤(注)	移植後15日～収穫60日前	○	3.5葉期	○	○
後期剤	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日～収穫30日前	○	4.0葉期	×	×
	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	×	—	○	○
	クリンチャーバスME液剤	移植後15日～収穫50日前	○	5.0葉期	○	○

ノビエが残ったら・・・ クリンチャー散布



クリンチャーの散布時は3～5cmの水深を保って下さい。散布後3～4日は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しはしないでください。

バサグランは湛水状態で散布すると効果が薄れるので、**落水した状態**で散布しましょう。

ホタルイ・オモダカ等の広葉雑草が残ったら・・・ バサグラン散布

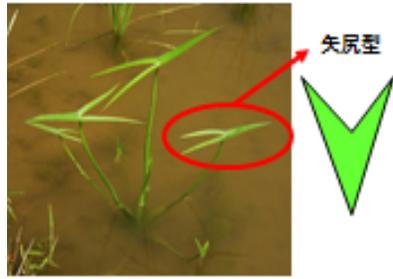
ホタルイ



コナギ



オモダカ



クログワイ



その他: 例年クサネムが多い圃場・・・ ノミニー液剤

クサネム

薬剤名	使用時期	使用量	対照雑草	生産基準米
ノミニー液剤	移植後30日～ 収穫60日前まで	50～100ml/10a	クサネム・イボクサ	×

